

2024年度 第8回12月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2024年12月18日(水)
2. 開催の場所 栃木放送本社会議室
参加できない委員には資料を送付して番組をお聞きいただき、意見・感想を返信してもらう形式で開催。
3. 委員の出席 委員総数9名
返信総数3名
出席総数6名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	石松英昭
	委員	若井明香
	委員	高橋久夫
	委員	小川俊彦
	委員	藤原紀沙
	委員	井出智子

4. 議 題

- (1) 「SBS 静岡放送制作 佐藤竹善 from Sing Like Talking 「レコード部屋」
「ROK ラジオ沖縄制作 ひがけい子の今日んにふえーで一びる」
各放送日 11/25(月) 11/28(木) を試聴

- (2) その他

5. 議事内容

- (1) 「SBS 静岡放送制作 佐藤竹善 from Sing Like Talking 「レコード部屋」 と
「ROK ラジオ沖縄制作 ひがけい子の今日んにふえーで一びる」について
番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴して頂きました。

議題説明

当社では、数社の放送局と番組を交換して放送しています。自社では制作できないその地域の話題や方言の他、タレントなどによる番組を放送するメリットが互いにあることから、各放送局間で交換する方式が近年多くなっています。

番組交換している放送局（2024年度）

「青森放送・岩手放送・新潟放送・北陸放送・北日本放送・静岡放送・中国放送・山口放送・ラジオ沖縄」

各委員からは

- 今回の番組は、どちらも個性ある音楽をテーマにし、流行曲ではなく独自の切り口で曲を取り上げている点が印象的でした。堅苦しさがなく親しみやすい解説が特徴で、放送時間帯が夕方以降ということもあり、リラックスして気軽に聴ける内容となっていた。2番組は他局制作で複数の局が放送する形式でしたが、それぞれの局が得意としている音楽ジャンル等に焦点を当てることで、リスナーに幅広い選択肢を提供し、普段触れる機会の少ない音楽や文化を知るきっかけをつくっていると感じました。現代では配信サービスで自分の好みに合った音楽を選ぶことが増えてきていますが、ラジオならではの「偶然聴く楽しさ」を再発見できたように思います。また、両番組がradikoを通じて全国で聴ける点も、この魅力をさらに広げることにつながると感じた。課題としては、ターゲット層の拡大や番組の間口を広げる方法に検討の余地があるかもしれません。しかし、他番組とのバランスを考慮すれば、こうした特定のテーマに特化した番組が存在することで、ラジオの懐の深さの魅力が引き立つように思いました。

- 静岡放送、佐藤竹善さんは、高校生の頃FMラジオで聞いていたので個人的にも懐かしい声が聞けて嬉しかったです。洋楽・演歌が織り交ぜて紹介される番組構成もAMならではの、と思いました。佐藤竹善さんの解説・コメントがわかりやすく細部にわたって聞いてとても面白かった。放送時間帯もリスナーのターゲットに合っているように思いました。女性アナウンサーさんとの掛け合いもよかったです。また栃木放送から、まさか沖縄なまりのラジオが聞けるとは！とても面白い企画だと思います。話すテンポもゆっくりで、栃木にいながら沖縄を感じることができました。沖縄の音楽だけがながれるのも気分転換になりました。仕方のない事ですが、沖縄開催のイベントの話は、正直興味がわきませんでした。今は、ラジコをつかえば、どこでも好きな番組が聞けるが、地元の放送局から流れてくることに意味があると思いました。音楽や地方パーソナリティーを通して、その土地の文化が知れることもいい事だと思います。逆に、栃木放送の番組が他県にどのような物が流れていて、音楽・言葉・文化がどのように伝わるかが気になりました。

○他局との番組交換による番組であるが、番組自体それぞれの地域性を感じられた。リスナーにとっても、いつもと違うアナウンサーが進行する番組で新鮮味を感じることができると思う。放送するサイドからも番組制作費の軽減に繋がり、効果的であると感じた。静岡放送「レコード部屋」は何故か懐かしさを感じるラジオ番組である。70年代から80年代の洋・邦楽を紹介する内容であり、主として中高年向けが楽しめる番組と感じた。ネスカフェのCM紹介も良かった。なお、今回放送された曲は、個人的にも青春時代の思い出の曲であり、大変良かった内容であった。夕食時間帯の放送ではもったいないと感じた。ラジオ沖縄「ひがけい子の今日んにふえーで一びる」南国沖縄らしいのんびりとした番組である。内容的にも沖縄に特化した話題であったり、曲であったりで、放送を聞いていると沖縄に旅行に行った気分になれる。進行にあたって、素人ぽさを感じて、のんびりと聞ける番組である。深夜の放送時間帯にもマッチしていると感じた。

○交換番組は内容が良く、栃木の在住者や静岡、沖縄から来た人々にも楽しめる番組。リスナーを増やすには宣伝方法の工夫が必要。また、女性パーソナリティのオガワさんの落ち着いた話し方が好評で、笑い声が控えめで聞きやすかった点が良かった。今後もこのような地域交換番組を続けてほしいと思います。

○番組交流の企画は非常に良く、日本の広さや地域ごとの特徴を感じられる内容だった。沖縄の放送はテンポが独特で一部聞き取りづらい部分があったものの、耳障りな笑い声がなく聞きやすかった。白浜節の美しい歌声や佐藤竹善さんの洗練された会話と選曲が特に印象的だった。また、五木ひろしの楽曲も楽しめた。こうした企画は地域ごとの魅力を伝え、栃木放送にとってもプラスになるため、今後も続けてほしいと強く感じた。ラジオならではの良さが存分に発揮された番組だった。

○交換番組では、ご当地の風土や音楽を感じられる内容が重要であり、沖縄の番組はその点で良かったが、パーソナリティの日本標準語の聞き取りづらさや読み間違いが課題。一方、佐藤竹善さんの番組は豊富な知識と流れるような解説が魅力的で、リピーターになりたいと感じさせる内容だった。彼の音楽解説や相手のオガワさんの受け答えも素晴らしく、ラジオの強みが発揮されていた。また、地域性だけでなく、豊かな知識や個性を持つパーソナリティが重要との意見があり、栃木放送でもそうした番組作りを進めてほしいとの要望があった。他局からの良い番組を取り入れることで、ラジオ愛好者を増やす可能性があると思った。

○佐藤竹善さんの番組は、爽やかな声と力の抜けた心地よいトーク、パーソナリティとの進行が印象的だった。洋楽や演歌、CM ソングなどバラエティ豊かな構成で、リスナーにとって聞きやすい内容だった。佐藤竹善さんの豊富な音楽知識もさすがで、楽しめる番組だった。沖縄の番組は、沖縄らしいゆったりとした雰囲気と方言を交えたトークが特徴的で、沖縄好きや出身者には心地よい内容だったのでは。選曲もユニークで面白かったが、パーソナリティのひがさんの話し方に改善の余地を感じた。長年続いているにもかかわらず、話しがあまり得意ではないように思った。

○佐藤竹善さんの番組は、心地よく、わかりやすい番組で、曲やパーソナリティのやり取りが安定しており、意外性も楽しめた。ただ、五木ひろしの曲紹介での会話内容はどうかと感じた。全体的には熱意が伝わる良質な番組だった。ラジオ沖縄の番組は、地元の飲食店の雰囲気や全国的なつながりを感じ、心地よさが良かった。特に男性ミュージシャンの声心地よく感じた。番組交換全体への意見は、明確なコンセプトとその実現が番組の質を左右すると思いました。交換している栃木放送の番組が他局でどのような評価を受けているのか知りたくなった。ただ番組提供や交流が新たな視点を得る機会となると期待されているが、やりすぎには注意が必要なのでは。

○佐藤竹善さんの番組は、音楽の専門的な解説や、ジャーニーの紹介が良かったが、選曲の幅が広すぎて方向性がわかりにくかった。全体的には、一般リスナーにとって音楽のジャンルや背景を知る良い番組だと思う。沖縄放送の番組は、沖縄民謡が流れる中で、トークの方向性が曖昧、パーソナリティの話し方が私は不満を感じた。基本的に沖縄の地元向けの放送だともおもいますが、県外向けに沖縄の文化や歴史など、音楽以外の情報が加われば、さらに深みが増すのでは。交換番組全体の提案は、音楽をテーマにした番組交換は良かったが、地域の文化や特徴を知るための、音楽以外のジャンルでの番組交換も検討してもいいのでは。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

特になし。

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」（2025年1月26日）
- ② 当社のホームページに掲載（2025年1月27日）
- ③ 当社事務局に議事録備え置き（2025年1月27日～）

以上